第五、上半期賞與給與日ヲ七月一日トスルコト、
但シ、下半期ハ従前通リ、

第六、醫師ノ診斷ニヨル疾病ノタメ欠勤スル場合ハ左ノ手當ヲ支給スルコト、
七日以上七十日分以内ハ日給ノ半額

第七、兵役應召ノ場合ハ其服役期中ハ日給ノ半日分ヲ支給スルコト、

第八、不可抗力ニ依ル過失ニ於テハ絶対ニ閉門又ハ解雇セサルコト、

第九、日曜日及ビ祭日以外ノ休業ハ日給ノ金額ヲ支給スルコト、

第十、八時間勤務ヲ勵行スルコト、

第十一、本問題ニ関シ絶対ニ犠牲者ヲ出サザルコト、

第五、給與スル場合ハ承認ス、
但シ従業員怠業又罷業ノ場合ハ給与セズ。

第六、會社ガ必要ト認メタル場合ハ任意ノ金額ヲ支給ス。

第七、四週間迄ハ日給（不停止）半日分ヅヽヲ支給ス、

第八、承認ス、

第九、支給セズ、

第十、八時間勤務ヲ其基本トス、
但シ残業ハ會社ノ都合ニ因ル事、

第十一、犠牲者ヲ出スヲ望マズ、

追加　賀川氏調停ニヨル要求承認條項、

一、共済組合ヲ造ル事（聯合委員會ニ於テ協議ス）

二、會社ノ都合ニヨル休ミニ対シテハ日給額ノ半額ヲ支拂ス（日曜、祭日ハ除外）

解傭、

三、本人ノ過失ニ依ラザル解傭ハ二週間前ニ通知スルコト、又ハ二週間分ノ日給ヲ支拂ヒ解傭ノコト。

工賃、

四、常傭者ノ最底賃金ヲ規定スルコト。

五、請取ニテ高給ヲ得ツヽアリシモノノ其他、常傭ニ変更ノ場合ハ其常傭賃金ガ特ニ差額ナキヤウスルコト、
（聯合委員會ニ於テ協議ス）

六、争議中ノ休業ニハ日給ヲ支拂フコト、
（但シ、去ル十九、廿両日ノ犠牲者ニ就キ）加ス